

地域活性化への取り組み

◎信用事業での貢献

☆移動金融店舗による金融サービス

組合員と地域・利用者への金融サービスの取り組みとして、高齢者等の利便性を高めることを目的に導入しています。移動金融店舗は信用事業の窓口端末機を搭載して地域を巡回し、地元組合員・利用者の皆様へ金融サービスを提供しています。

移動店舗営業時間

H30.12月現在

火	①あつぷるはうす 11:30～12:30	
水	①旧南部支所 9:30～10:30 ③尾上直売所 14:00～15:30	②旧尾上東支所 11:30～12:30
木	①旧光田寺支所 9:00～10:30 ③旧追子野木支所 14:00～15:00	②大根子公民館 11:00～12:30
金	①大沢町公民館 9:15～10:15 ②大坊育苗生産組合 13:30～15:00	②舘山婦人の家 11:00～12:00

☆休日ローン相談会の開催

地域住民であれば、どなたでも参加できるのがJAバンクローンの特徴です。その特徴を踏まえた上で、平日の時間が取りにくい一般給与所得者にも向けて毎月、黒石基幹支店、平賀基幹支店、板柳基幹支店を会場とし、輪番開催しているものです。

☆融資専任渉外による担い手農業者、地域利用者への訪問活動

担い手など農業者や地域利用者に対し、「出向く体制」として積極的に訪問活動を行ない、身近な相談相手となり、適切なサービスを提供していく取り組みをしています。

変わるJA 広がる地域のきずな

変わるJA 広がる地域のきずな

監修＝広島大学
助教 小林元

Q、JAの自己改革で農家は元気になるの？

A、現場のニーズに応え、農家の所得増大と生産の拡大を支えます。

JAグループは、自己改革で「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの基本目標を掲げています。「農業者の所得増大」は、①有利販売による単価アップ ②需要に応じた生産量の拡大 ③生産コストの引き下げ——によって達成します。「農業生産の拡大」に向けては、農業生産基盤の維持・拡大のため、次世代の担い手の育成を進めます。また、「販売品取扱高の拡大」を共通目標とし、組合員と課題を共有し、知恵を出し合いながら取り組んでいきます。

JAグループは、JAグループがめざす姿として、「消費者の信頼にこたえ、安全で安心な国産農畜産物を持続的・安定的に供給できる地域農業を支え、農業者の所得増大を支える姿」を掲げています。地域農業や国産農畜産物への消費者の理解を広げ、農業の応援団を増やすための活動も行っています。地域の皆さんの協力の力で、地域農業とその主人公である農家が、元気になるための取り組みを、自己改革を通じてより一層進めていきましょう。

「農業者の所得増大」の考え方



注) 共通目標として掲げる「販売品取扱高の拡大」は、有利販売による販売単価のアップと生産拡大を反映した「農畜産物等の販売収入」に加えて、政策活用や6次産業化等による利用・加工事業を含めたものとします。

耕そう、大地と地域の未来。